

1



2



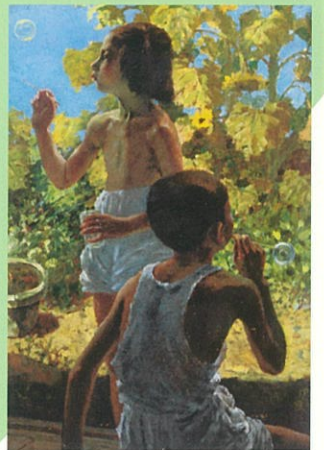
3



4



5



6



7

「洋画」とは、日本古来の画材や技法を用いた「日本画」に対し、ヨーロッパで生まれた油彩画や水彩画などを指し、明治時代以降、本格的に日本に定着した絵画の一分野です。この新しい文化が奈良にもたらされたのは、穏やかな気候と豊かな自然にひかれ、洋画家たちが奈良を訪れるようになる明治時代も後半のことです。以降、この地に移り住んだ画家たちによって画塾や展覧会が開かれるようになり、一方では、学校での美術教育を通じて国内外で活躍する画家も輩出されるなど、洋画は徐々に奈良の地に根づいてゆきました。

この展覧会では、本年が明治時代の始まりから150年を迎えるのを記念して、この時代に大きな動向を見せた「洋画」の奈良での展開を紹介します。奈良ゆかりの作家たちによる作品や、奈良を描いた洋画の名品をご覧ください、古都に吹いた美の新風を感じていただく機会となれば幸いです。

[関連事業]

※ミュージアム・コンサート以外は要観覧券
※詳しくは美術館までお問合せ下さい

- ・講演会「美の発見～作品が生まれる時」
講師：南城 守氏（絹谷幸二天空美術館顧問／キュレーター）
8月4日（土）14時～15時30分
レクチャールーム 先着80人
- ・実技講座「板に描く・さまざまな画材を使って表現してみよう！」
講師：森川浩孝氏
（画家／関西文化芸術高等学校・関西文化芸術学院教員）
8月11日（土・祝）13時30分～15時
レクチャールーム 先着20人 参加費無料
小学校低学年未満の方は、ご家族同伴で
- ・美術講座「奈良と洋画」 講師：当館学芸員
9月2日（日）14時～15時30分
レクチャールーム 先着80人
- ・ギャラリートーク
7月28日（土）、8月25日（土）、9月15日（土）
各日14時～ 展示室 担当：当館学芸員
- ・ご希望者に対し、ボランティアによる展示解説、会期中随時
- ・ミュージアム・コンサート

[連携展示]

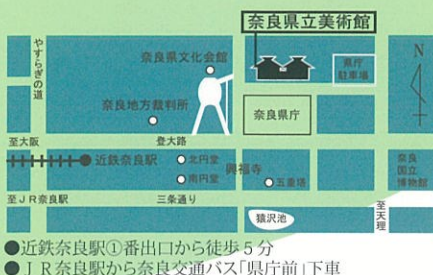
奈良県文化資源活用課によるパネル展示
「明治150年記念写真パネル 近代の奈良」
平成30年（2018）は明治改元が布告された明治元年（1868）から満150年にあたります。明治期を今日の奈良県の基礎が築かれた時代として捉え、当時を知って頂き、将来の奈良県の姿を考えるきっかけとなるよう、幕末・明治期を含めた近代の奈良にまつわる写真を紹介します。



奈良県庁舎（奈良市）
提供：国立国会図書館デジタルコレクション
出典：「日本写真帖」明治45（1912）年

【同時開催】

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会によるパネル展示
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録の推進について
会場：当館ギャラリー 観覧無料
お問い合わせ先：
奈良県文化資源活用課（TEL:0742-27-2054）



奈良県立美術館

Nara Prefectural Museum of Art

〒630-8213 奈良市登大路町 10-6
TEL 0742-23-3968 FAX 0742-22-7032
テレフォンサービス 0742-23-1700
[ホームページ] <http://www.pref.nara.jp/11842.htm>
[Facebook] <https://www.facebook.com/narakenmuseum>

奈良県立美術館ファンクラブ
メール会員募集中！

詳しくは美術館HPまで



次回展覧会予告

特別展 「ブラティスラヴァ世界絵本原画展 BIBで出会う絵本のいま」

2018年10月6日（土）～12月2日（日）